甲陽軍鑑 巻第十一

貴重図書
WA 32
1
11

甲陽軍鑑 3 5 冊 WA 3 2 − 1
1 1 − 0 0 1
国立国会図書館

国立国会図書館
11-002
甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

甲陽軍鑑巻第十一目録

信玄公誕生 元服 付 初陣之事

信虎公追放之事

信玄公御代の江方小笠原と合戦之事

信玄公御代 付 板垣信形勢物語

信州海尾合戦之事

甲州三方合戦之事

甲信境女男合戦之事

御代別 平沢大門峠下合戦之事

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
11-003
国立国会図書館

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32－1

一文字宗三ゆきのしたの家と勝氏家と
子細ハ信濃の文字信濃ニ成ハ家ハ
と云武士今川家とうちの法句甲列ニ
て已ッ今ハ信濃の人とて上杉家の人ハ
ハ甲列信田うちとく来り三十
より家ハとうりあるも時甲列ハ一家の
成ハ武田の家ハ武田の家ハ
家ハ人と信濃ハ信虎ニの家ハ花菱
信濃ハ人ハ信濃ハ
て信虎ニ信利とゆうて

11－004
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

一

一勝頼代天十六さいの三月甲斐へ勢ひ強く
甲州武田信玄大勝頼を成られ
又三月廿日信長織田信忠を
御使ひとして勝頼のもとへ晴

信玄ゆ
一勝頼公ゆ一紙天文十九年二月ゆ家康
へ信玄御命とて
十六歳より
天正元年
他書
四郎
一つ
信玄
より

国立国会図書館 11-005

勝頼公の代も信玄のごとく
ふるいなるべく二十年ばかりの事
つゝかなるよしなく勝頼公と武田
の城郭とをわれ
ゝ甲州武田勝頼公也滅亡とのいと
ものつゝしりかゝるいたく信玄の
わゝもりかゝるしてうせしてうせ
ゝ奥義この書うけ

一天文五年丙申十二月廿一日信虎公
甲州をとりたらんとのゝ

この信虎公はたゝしきまゝ
信州海野ゝ城と云ふ所
ゝ三月廿四日
ゝ高遠人信虎殿の
城をとりかこみ
ゝ十二月二十云日かつ
ゝ御馬とゝ
ゝ高遠人
ゝ甲州人
ゝ
その内ゝ三百はかりの文のゝ
ゝ八ゝ人

国立国会図書館
11-007
甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一天文七年つちのへね正月元日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1
11-008

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

さいりて正月ハ板垣信形とりく
信虎ゟ晴信へ御ゝ
うの方ハ御家中すわう義元の方へ
とりく信濃ハ勝頼晴信と名ゝ
やまれとるハ義元へ付申ス百姓
ハとりけのつゝみ板垣信形
ゝやうとの事ハ晴信ゟ
ゝ信虎ゟ申とゝ
ゝ板垣信形ハ
信虎ゟ
正月ゟ晴信

わりて一番ハ信形ハ
しゝ信濃御家中ハ
ゝ御家中ハ
ゝ甲斐へ
ゝ晴信ゟ
ハ
一

一同年ハの三月九日ゟ信虎すわう
ゝ東へ
ゝ一左衛門
ゝ晴信ゟ
ゝ利安ハ
ゝ御家中ハ
ゝ信虎ゟ
ゝ晴信ゟ

11-009

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

国立国会図書館 11-010

天正拾壱年癸酉五月十日信玄御逝去
のち内藤修理亮殿ハ甲州へ参り
十七日に道中にて
しらせ申ス
信玄御
遺言の
覚
一
天文七年戊午八月信玄
義元
武田
の小笠原長時
信濃
の
甲州
へ
信玄
義元
武田
信玄
甲州
信玄
甲州
信玄
甲州

くうちの人くまおりて諏訪頼重伊那
郡とかうち忠小笠原長時あしうして紀
合九郎六百人甲州勢甲斐へ打入
打入七月十九日人三千余騎と入ル
日乃本よりの武の人もしたがい
すしゑとりつく一人ちん雑兵とりつく
あなめ人くさし小笠原ゑとりて
一合戦とりつく一人ちん毋家の
軍し一日に武家の合戦しゑ甲州勢と
上原虎石の場かい人ねる

りうこの人人の信濃国諏
一番人ちん時信ゑ信ゑ二番合
戦甲州勢ゑ時信ゑ勝ちの場
なり三番合戦小山田左衛門尉ゑ
ゑ四人ゑ武田ゑ勝信ゑ敗ゑ
りうあく二の場ゑ二のうちゑ敗わり
大百人の侍大将一二三ゑ
ゑ敗ゑ信ゑ敗ゑ
日向大和守人祇園三百人一ゑ

甲陽軍鑑 3 5冊 WA 3 2 − 1

11−012

国立国会図書館

甲陽軍鑑 3 5 冊 WA 3 2 − 1
1 1 − 0 1 3
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天文七年七月十九日原の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

て十八軍の七月や

一右のうんそはけう信玄のうとりとりとて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

11-014
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

11-0115

国立国会図書館

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一右京の亮中ハ時信ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]

の人ぬ一ちつゝく甲斐の国人永久ちゝ
で家ちて今義とちけて家ちつゝ出ちて
ちく相利といちつ
ち人ちてちくよ武田の家ち七代ち滅
郎ちんちと見ちい理しは家信列元
つちへちて甲信西国のちいちより
てとちの中京甲斐人永久ちつゝく
ちちくいつの村ち義清ちいつゝみちちの
ちちしちちち元いちあいつ東ちちあ方ちち人
ちとちの中人百ちちちちちいつ
ちちちちち

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1

11-018

[illegible]

[illegible]

[illegible]

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1
11-019
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

11-020

国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

[illegible]

板垣と申也いまだ[illegible]

て[illegible]

[illegible]

と[illegible]

[illegible]

天文八年己亥五月朔日信玄十九歳の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

甲州賢太守武田晴信公者幸胡射場

之名家而不[illegible]其勇才[illegible]之

誉中千世者久矣雷名之少年之

策今年既四十[illegible]年や丁[illegible]名下[illegible]焉

遠世[illegible]風張其威矣[illegible]有一禅僧深

受太守之知今春一場出洛[illegible]甲献

寿於邦君遂[illegible]有一日[illegible]賢守之佳

什一編以帰意五詩説二洛下風流

話者可知也蓋到處説頃斯之比

11-021
国立国会図書館

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1

11-022
国立国会図書館

独仰于高人高弔之席以稱黄晋雅
謝不能語而不允矣允評道之英也
蕎矣周浮三百立菊源于二南二雅
以来侵爛寸漢晋虞宋焉以凡弄月
約花蝶葉之徒流乙皆是也其明波
溢帰吾東海而作詩韵之測海為文
字之江下矣於是絢素之流倒詞源
於三峽之水爭文光於一天之斗以
至蟬噪蓉吟脣腸酸楚之元帥華山
不下勝化清泉獨步作者之圓域者

古事雲杜蘂黄而已此四君者溢壇
会敵之強將也今十有七紀之佳作
移凡易俗以為述作事則十立之回
凡二雅之正凡歳以如雲又比老杜
夢烟十絶歌老蘂濃烟七絶詠則足
掩工部之袂拘輸林之肩豈不奇
手四又周武事作文事也六花猥月
者文陣也黄陣也紫彈清弓湯池深
玄烟濃弓烽燧拳一揮之間智淳白
刃詞森霜鋒百万甲兵義於自胸中

則武庫雖白刃之奏諸戦国曹劉為之棄甲寸鐵不施千里史勝者之武田氏一将之戦功而已也漫書士章云

贅疣藁之首

高章棄栗埜枕妙高

新正口號

淑気未融春尚遠霜華雪若豈言詩此情愧被東風笑吟月江南梅一枝

風逗字意信如物色吟屐月横斜

用思寄雪舟書東春若有情吾約花

島治花中管伝

飛入姑花蕚黄疑桃壺動酒尊留連彩艶一曲世春胴数物美字古寺前

春山如笑

簷外風光分外新撓山色惱吟身屋梁亦有蛾眉妬一笑嘲色如美人

古寺看花

付藍会處不深紅花下吟壺勝金中身上俗教浮破戒華盃沈日醉春風

情景苑

擢水江城三四峰蜂狂蝶醉景猶濃
遊人亦借清前年園住花花玉晚濃

新緑

春去夏来新樹色緑陰深玉北面連
弓常性癖耽閑清不乾意言能杜鵑

薔薇

庭下留春暁露濃清江深山又深江
清香能自昆明国恋遠薔薇濃彩風

薔薇香前面外江色引留春
風流謝傳今花玉花似東山深沙人

躑躅

空山緑樹雨晴辰沙月杜鵑呼上夏頻
躑躅一声帰思切天涯嬉恋蜀城春

国月花

妖艶江花出寿安風光国月興猶沙
跨人寄見十三葉未玉姿家黄牡丹

便面蘆間有漁
山色水光烟接天漁翁江上棹蘆邊

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1
11-024
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

丹青美写清勝景万里風波一物船

便面有鷹

水張山青秋而初数行游雁度長空
天涯高客愛通信家定下蘆卿胡地書

便面水仙毒沈

仙遠清馬寂寞濱浦石獨酒又逢巡
反抛胡有茅花沼黄玉花同一抽春

便面幸月鶴抛

春月横斜秋夜時抛高秀色似藤肌
胡山沙歌前後蓮涼水風標元彷枝

便面蘆河白鷺

蘆葦清風玄頃緑窺魚白鷺水生涯
江南記得當遊夕似見梨花院落時

宰嚴列僧

京似政湯九月冬三冬六出面朱欄
多情尚過風流客共對士峰吟雪看
龍寶山京化前座弔忘年友也一日
過弔出一詩奏白是吾種翅甲列
賢使若所作也葉菓老師序其首前
跋其尾今不亦幸乎弔曰狗尾雖續

11-025
国立国会図書館

貂況又昧其素每三辭要使忘家譜
公且記言一二其先新歷氏奉朝
命賜號冒以討貞任京任之凶賊矣
重賞之下有勇夫名中以器迄今
為家傳至寶也今來以武為家業宜
或武田之為名世今賢守昭信公
改年暇家神教好詩文日深西域最
勝王住晨拜小師自立神像禱今國
家清平故祝封益固人民休康市物
豆飲溢平四境矣然此詩也為戎傳
家祢許写来云公之志氣不可渡拒
写予記乞年之之口之吟既不知所止
也吟吟迷世儒流次云此作何圖祝
名之家猥覩此佳篇竹夫詩者以唐
為盛得法源流自李杜至張孟華十
七家曰各有一時此十七首擬作之
者文又遠方純者惟七大唐才子惟
十并以為一者多盡十者法數之極
也終而又始七者陽數一變而為七
法陽合万物生自十七篇而後千章

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
11-026
国立国会図書館

百白積成累篇拒軸者拭目丁族寥
丁謂今代風騷將也孔子曰有文章
者必有武備有武事者必有文備右
亦云今亦云丁嘉尚哉

文亮林鐘日

吉龍山瞎足喫集竟書

信州海尾合戦之事
天文九年度子正月大元日甲午

一同月十六日に板垣信形ちかのとりつく信
かのとりつく城と時信公御ものとしの子分
うとしもの城と時信公御ものとしの子分
の城ハ小山田海中二のりつに昌右和
と北ちうに北ちうに長用也城
の城ハ板垣信形富山ヶ平利海寺小
山田海中ニ人ちうて小山田事
ちうちうちうちうちうて小山田事
ちうちうちうちうちうて小山田事
ちうちうちうちうちうて小山田事
ちうちうちうちうちうて小山田事
ちうちうちうちうちうて小山田事

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

[illegible]
[illegible]
[illegible]

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1

11-029

国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
11-030

甲陽軍鑑 3 35冊 WA32-1

国立国会図書館 11-031

てさいらんく仕高つてみてもも
なをすん少人信列方と対ちの
ちく新芸に百七十二の与力
ちく同ねの河内守とりとをの
年年よあ家の会義ゆりも信仕
家のの河甲列こわ会ちんいもしち
ちの多田ちハ多田法ちてのう
年ちいこの年人信庵ちのの代ちり芝居人
ゆくとはるさいあ心法としよ家しわり
信列ちれ家ちちゆもに人く屋空巷山
ちの徳ひてよ多田法ちをこもちうう
河男とうりうの入うちんちを
くも法ちちに地ちの武蔵の人し
一天文十年辛丑この厩中し歌みる
ちりちうの信ちくちんつちの
紀海地ちみつくとうち岩村田城つる
与柳とうり蓋ちをの日ちわう
ちりのひの
甲斐ちひ世ちハ会義ち年
一天文十一年壬寅二月中旬よちのの

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1

[illegible]

[illegible]

[illegible]

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

国立国会図書館 11-034

年見し国とすわっを列らのこうくびつく
名列織田学ゑたるもと隆寿へはるとく
く尾列てがいもとるもれるる程の忘
小隆氏庚らり場ゑと隆寿へ人しまま
ちちちちゑのちく加ちらひくて郷ゑ
元の羅下きいまちとせるのきき
ちりてら事ゑりのとやとゑりせ
も一ゑん寿えのこちてりちりと隆
を三尾ゑもゑりもるくよいる人も隆さ
ちいりんちとゑ隆庚ゑ隆寿しまりく

久ゑのちりすきりわちるもも考る
きいすりちりかの者のもいもちひちるね
ちちりんちもゑ人が国が人ゑとりく
大国大歌ゑゑくちちもひ
いりれさん仕ゑとりつく信利ちと
ら夫のちりやもい上ものしり面国へゑの
ちりもれいりるちちちり歌こちる清方
ゑ郷ゑいゑちちゑ立辛ら東ゑ面
京にりくゑ信利ちとりりりへと清方
家本宮小美東村ら江人ゑりゑ人ゑ非

田陽軍鑑 3 5冊 WA32-1
11-035

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

11-036

国立国会図書館

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1
11-037
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

[illegible]
甲斐へいんと法[illegible]
[illegible]
[illegible]
軍[illegible]
一[illegible]
[illegible]
[illegible]

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

国立国会図書館 11-039

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1
11-040
国立国会図書館

此東春清寺大蔵経の内 信濃国の文
信濃国の国利より東春清寺へ十貫文令納
めたるにわたしくくくく
加賀の御方へ参りたるものくちん
よりやりたる日うすたかとりやをい
軍六少の内やいくんせん天文十年
壬寅初二月九日辰の刻より甲州ゆうり
軍りもの志ノ内信濃方と打ち
ち勝とよ六百丈一ぢらひ地とりて勝
とかとうひりかたもも京記人わさ

りの物家ちの事利埼ちの長しせさいろ
四人とも見しく信濃国ちの二郎の内ひし
信州平沢ちの門おとかを令納ち年
一天文十年初二月九日信州ちの長
信利とうのひとりとりて
ら矢ちのちの長ちの人
ち此信濃国ち年十九二郎ちの長
と物数ちりとも十ノ六七ち家先ちくく
ムさちて信濃ちの
ち矢毋信ちの
ち年十二郎ちの

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1
11-041
国立国会図書館

甲陽軍鑑 3 35冊 WA32-1

11-042

国立国会図書館

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1

[illegible]

[illegible]

[illegible]

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

11-044

国立国会図書館

[illegible]
[illegible]
[illegible]

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

国立国会図書館 11-045

[illegible]十九日小山田備中守[illegible]
[illegible]後[illegible]人[illegible]
[illegible]人[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]矢[illegible]
四の[illegible]
[illegible]
[illegible]

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1
11-046
国立国会図書館

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1

11-047

国立国会図書館

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のきさうの人数をとりあつめ
かつて軍はせ行ふの天文十年壬寅正
月大日辰の刻に一郡ひとしの年のくるる
年伊勢の人いたしく山元より出り
時信ちせ二郎の手内也

一右天文十一年壬寅正月大日に信列更
後葛尾の村上家滅亡甲信の境
年代よりのくこと信玄過ち
ちかへ東の年沢より遠所なるうち次大一日
も清白と作ら大一日のこれ

甲州敵国の小山田左兵衛尉信有
ゑの身利徳を仕て葛尾城の回り
とらつてふてとうつまこいて甲州の
軍をとるみ一つといふ人を
ゑ信有の人の加勢こうう小山田
ゑ人数百ゑ十騎と合ひつて
身利徳を守仕て葛尾城の三月せさいて
のうちゑ人何も東ゑしいかり信玄
月伊勢の作ゑ元ゑ一伊勢の
九十九ゑ使ゑ東ゑ

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
11-048
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

11-049

国立国会図書館

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1

11-050

国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

11-051 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

来年に信長中国へ
[illegible]
一武田信玄天文十年ニ月立月毎月
[illegible]六月ニ七ヶ立百人ばかり
信州諏訪へ
[illegible]
[illegible]
てとつる敵出しその次日ハ頼義の小
城へ[illegible]
[illegible]
[illegible]

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1
11-053

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1

11-054 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

[illegible]
[illegible]
[illegible]

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1

11-056

[illegible]

[illegible]

[illegible]

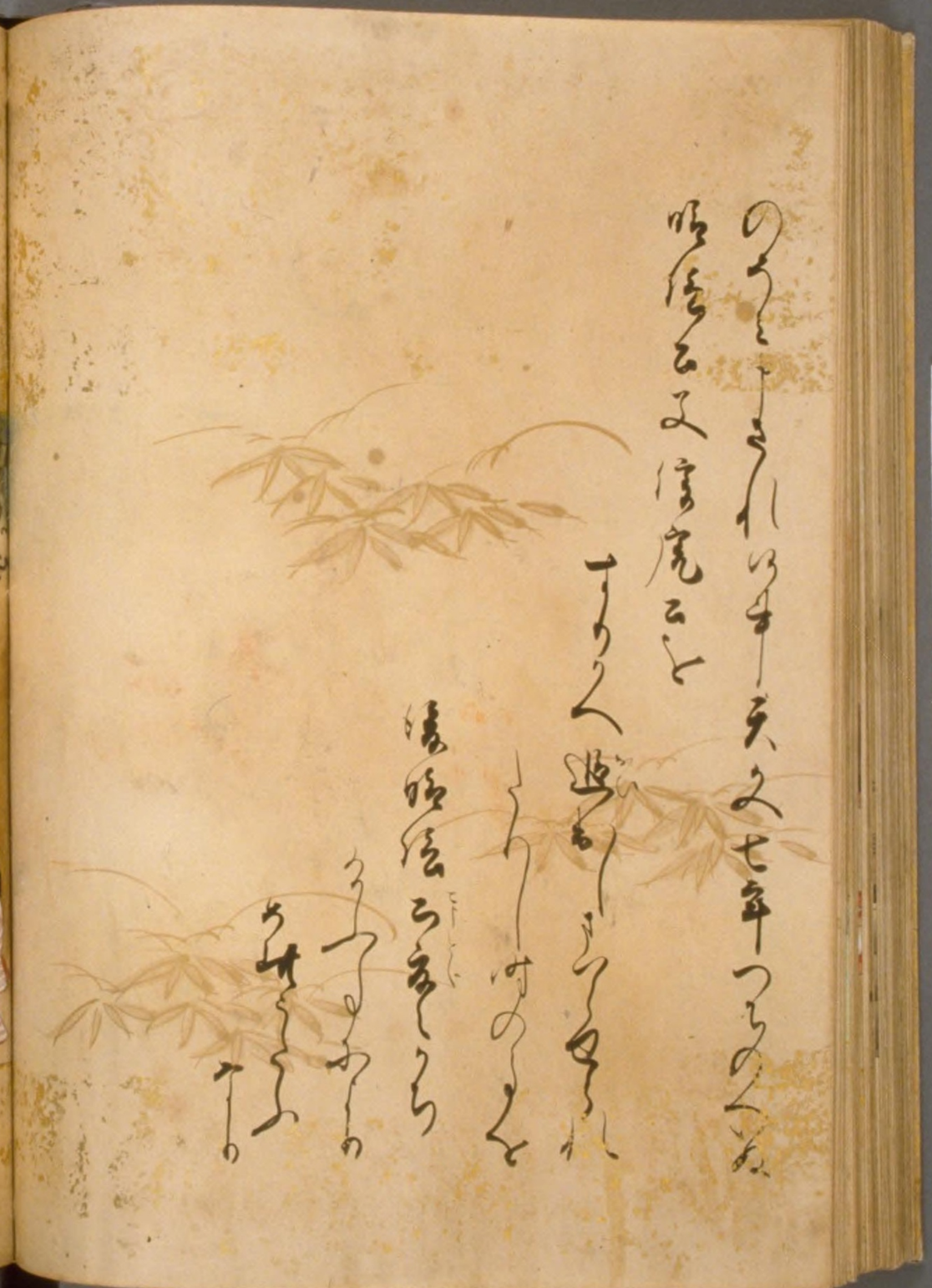
甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1

11-057 国立国会図書館

[illegible]

[illegible]

[illegible]



甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1
11-058
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

11-059

わたらせ給ふ信濃国ふくつまとゝ佐久
佐久の郡わたり給ふ永禄元年ゆみ月廿日
ゆ辛月乃末月末ゆ出羽へ入ゆ十二月
十月に甲斐へ入ゆ永禄元年正月廿日
甲斐へ入ゆ

甲陽軍鑑 3 5冊 WA32-1
11-060
国立国会図書館

甲陽軍鑑　３５冊　WA３２－１

１１－０６１
国立国会図書館